

## 平成から令和へつなぐエコチル調査

エコチル調査福島ユニットセンター  
センター長 橋本 浩一

平成 23 年 1 月に開始されたエコチル調査は新たな令和の時代に入り 9 年目となりました。福島県では 5 歳から 8 歳の 12,295 人（対出生数 95.6%、令和元年 6 月現在）のエコチルキッズが参加しています。改めまして、参加されているお子さん、保護者の方々、そして関係の皆さまに感謝申し上げます。

お母さんのお腹の中から 13 歳になるまでご協力いただく本調査において、福島ユニットセンターは“顔の見える参加者とのコミュニケーション”をモットーとし、お子さんの成長への寄り添いを大切にしています。平成最後の平成 30 年度は新たな取組みとして、4 歳までの質問票の集計結果をまとめた小冊子「エコチル調査で分かったこと」を作成し、新企画として環境について一緒に学ぶ「環境セミナー」、そして夏休み期間に“霊山こどもの村”での「小学生対象ふれあい会」を開催しました。

令和からのエコチル調査の最大のイベントは、小学 2 年生、6 年生時に実施される“学童期検査”です。学童期検査は本調査参加者全員 10 万人に調査会場まで来ていただく対面での検査です。福島県内各地の公共施設等で土日、子どもたちの長期休暇中に集団検診方式で約 12,300 人の子どもたちを対象として行います。4 歳の年齢幅で実施されている本調査では“学童期検査”は 8 年間継続されます。令和元年夏からまずは 2 年生を対象として始まります。平成から繋いできたエコチル調査ですが、令和元年からの 8 年間で本調査の成功の鍵を握る大切な時期となります。現在まで多くの保護者の皆さまとは、産婦人科でのリクルート以来顔を合わせる機会はありませんでした。学童期検査時に保護者の皆さまとの再会、そしてお子さんにお会いできることを楽しみにしています。

東日本大震災後、平成の時代に生まれた子どもたちは新たな令和の時代を歩み始めました。エコチル調査は子どもたちの成長とともに進化し続けます。今後ともご協力をよろしく申し上げます。

令和元年 7 月